

こころとからだに、
おいしいものを。



2024年2月15日

各位

会社名 ダイドグループホールディングス株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高松 富也
(コード番号: 2590 東証プライム市場)
問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部長 三原 真紀子
電話番号 06-7166-0077

繰延税金資産の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年1月期(2023年1月21日~2024年1月20日)において、下記の通り繰延税金資産の計上を行いました。これに加えて、最近の業績動向を踏まえ、同期間の通期業績予想について、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

海外飲料事業の大半を占めるトルコ子会社において、従来のIFRSによるIAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」だけでなく、トルコ現地の税務および会計処理においてもインフレ会計が適用された影響などにより、2024年1月期の繰延税金資産は22億68百万円となりました(第3四半期末と比較して12億48百万円増加)。

2. 2024年1月期 通期連結業績予想数値 (2023年1月21日~2024年1月20日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純損益	1株当たり連結当期純損益
前回発表予想(A)	百万円 211,800	百万円 2,500	百万円 1,600	百万円 800	円 銭 25.47
今回発表予想(B)	213,000	3,700	3,100	4,400	140.03
増減額(B-A)	1,200	1,200	1,500	3,600	
増減率(%)	0.6%	48%	94%	450%	
(参考)前期連結実績 (2023年1月期)	160,130	707	591	△507	△16.20

(注)当社は、2024年1月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり連結当期純損益を算定しております。

(修正の理由)

売上高は、国内飲料事業において価格改定効果が順調にあらわれたこと、また、海外飲料事業の大半を占めるトルコ子会社において、中東問題を受けた飲料受注が急増したことなどにより、好調な見通しとなっております。また利益面では、上記各事業の売上高増加効果を受けたことに加え、海外飲料事業のコスト削減が奏功したほか、親会社株主に帰属する当期純利益においては、繰延税金資産の計上による法人税等調整額△20億54百万円(△は利益)を計上しました。

このような状況を踏まえ、2024年1月期通期連結業績予想を2023年11月27日公表のものから見直し、上方修正しました。なお、2023年3月3日に公表した配当予想については、安定配当維持継続の方針により、実質的な変更はありません。

(注)業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報および合理的と判断する前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上